

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成18年12月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

- **需要面**・・・個人消費は一部に回復の動きがみられるが、総じて弱い動きとなっている。
大型小売店販売額は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(9月)
用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、
公共工事請負金額は前年を下回った。(10月)
- **産業面**・・・横ばいからやや弱い動きとなった。
鉱工業生産指数が電気機械工業等の減により前月を下回った。(9月)
- **雇用面**・・・持ち直しの動きが緩やかになっている。
現金給与総額は前年を下回ったが、所定外労働時間は前年を上回った。(9月)
求人倍率は、新規、有効とも前月を上回った。(10月)

○需要面の動き

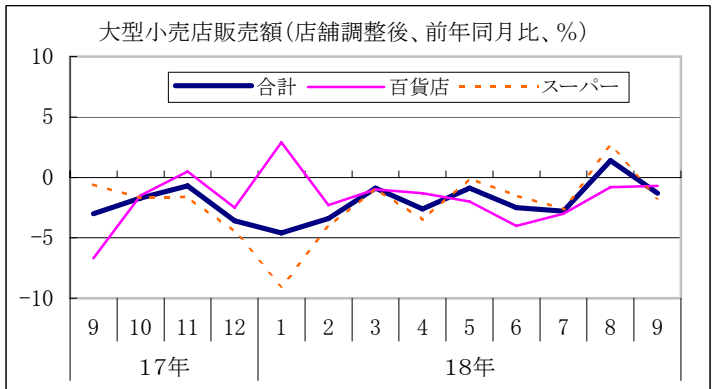
大型小売店販売額(9月)

全店舗の販売額は、52億588万円(前年同月比3.9%減)と14か月続いて前年を下回り、店舗調整後では2か月ぶりに前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	520,588	▲3.9 (▲1.3)
百貨店	200,155	▲0.7 (▲0.7)
スーパー	320,433	▲5.8 (▲1.7)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(9月)

30億3,616万円(前年同月比3.9%増)と2か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(10月)

1,696台(前年同月比0.7%減)と4か月続いて前年を下回った。

これは、小型車(前年同月比13.3%減)及び普通車(前年同月比6.0%減)が減少したことによる。

新設住宅着工戸数(10月)

201戸(前年同月比53.8%減)と2か月ぶりに前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月比69.7%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(10月)

22億2,990万円(前年同月比25.4%増)と2か月ぶりに前年を上回った。用途別では、製造業用(前年同月比1023.1%増)等が前年を上回った。

公共工事請負金額(10月)

103億9,700万円(前年同月比14.9%減)と3か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、県の減(前年同月比21.8%減)が大きな割合を占めた。

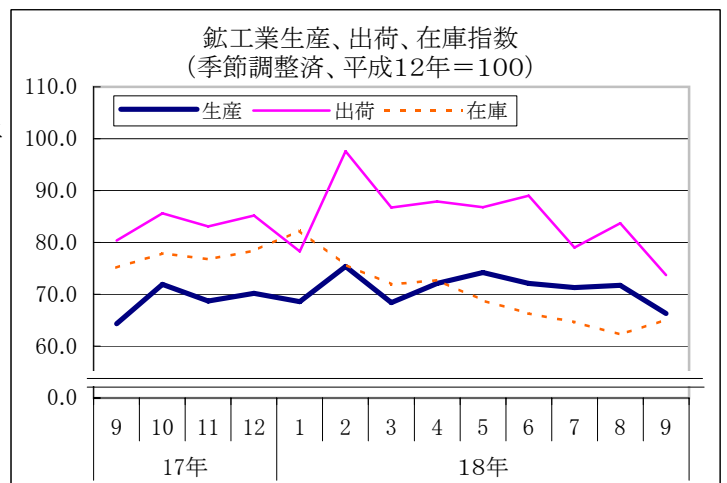
○産業面の動き

鉱工業指数(9月)

生産指数(季節調整済)が66.3となり、前月比は7.5%低下し、原指数では69.4となり、前年同月比で2.5%上昇した。

内訳を前月比でみると、電気機械が通信機械器具等の生産減により9.3%低下、食料品・たばこが0.3%低下、一般機械が27.7%低下、繊維が25.2%上昇した。

在庫指数(季節調整済)は65.1と前月比4.7%上昇した。



大口需要電力実績(9月)

144,394千kwh(前年同月比0.1%減)と5か月ぶりに前年を下回ったが、鉱工業はパルプ・紙等で増となり1.1%増加した。

青果物卸売量(10月、鳥取市場)

野菜が1,767t(前年同月比1.7%増)と12か月ぶりに前年を上回り、果実は1,075t(前年同月比8.4%減)と5か月続いて前年を下回った。

漁獲量(10月、境港)

15,409t(前年同月比49.4%増)と3か月続いて前年を上回った。

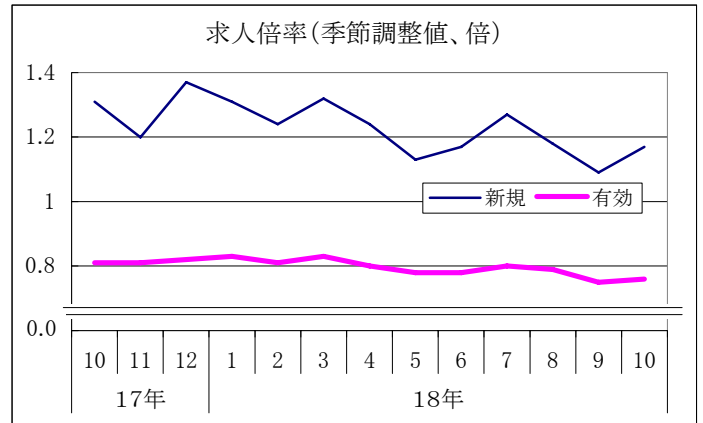
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(10月)

1.17倍(前月差0.08ポイント上昇、前年同月差0.14ポイント低下)であった。なお、新規求人数は、4,410人で前年同月比8.9%の減であった。

有効求人倍率(10月)

0.76倍(前月差0.01ポイント上昇、前年同月差0.05ポイント低下)と8年8か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(9月)

252,865円(前年同月比0.8%減)と3か月続いて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、250,866円で3か月続いて前年を下回った。

所定外労働時間(9月)

9.4時間(前年同月比8.0%増)と2か月続いて前年を上回った。主力の製造業は4.3%増となった。実数による前年同月比では、教育、学習支援業(前年同月比62.9%増)等で前年を上回り、飲食店、宿泊業(前年同月比33.3%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(9月末)

預金残高は、1兆8,471億円(前年同月比0.9%増)と5か月ぶりに前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,654億円(前年同月比0.8%減)と13か月ぶりに前年を下回った。

○参考

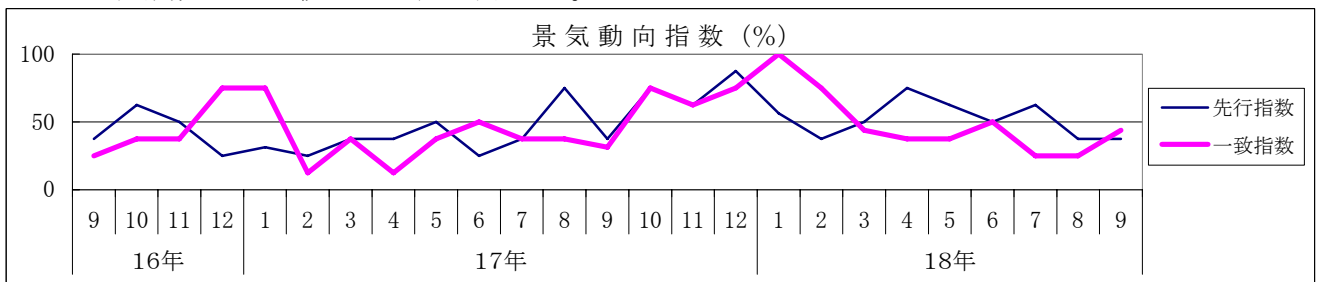
鳥取県景気動向指数(9月)

先行指数37.5%、一致指数43.8%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は2か月続いて50%を下回った。

一致指数は3か月続いて50%を下回った。

遅行指数は3か月続いて50%を下回った。



企業倒産(10月)

件数は6件(前年同月比50.0%増)で2か月続いて前年を上回り、負債総額も11億3,600万円(前年同月比61.1%増)で3か月続いて前年を上回った。

消費者物価指数(10月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.7となり、前月比(0.2%上昇)は2か月ぶりに上昇し、前年同月比(0.4%下落)は2か月続いて下落した。

鳥取県の推計人口(11月1日現在)

603,994人で、前月と比べて7人(0.00%)増加し、前年同月と比べて2,954人(0.49%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成18年11月調査)

平成19年1~3月期は、平成18年10~12月期に比べると景気、売上高、経常利益のすべてで不調となる見通しとなっている。